

平和時報



佛りとエラの二女の友

ベダリグ夫人と家族

歐洲で最も有名な遊境... 北フレンチチリビエラ... 今度大戦に四四二部隊... 訪ひ此処で知己を見せ...

戦後は平和の戦ひに... 先般特別列車で... 運送したダクターは... 同様に同業して此...

四種府の永田ダクター宅全焼

つけ火の疑濃煙

調和民は若かくて... 用で焼却で常に献身的... 水た永田ダクターに...

朝和校父兄會 概 懇 議 事

日米開戦と云ひ殊に八... 月以來世界の歴史が百... 八十度の廻転をなした...

特別客車

十月十八日発

素直な気持ちで... 以前から同懸になつて... 居た校舎掃除人雇傭の... 件は聞しては人力拵成...

外部定住欄

ミネソタ大学

布市及傳尊出身の杉山
ジヨージ君は最近伝尊出
身の安部エレイン嬢と
結婚したが現在ミネソ
タ大学で博士号獲得の
為勉強中である。

師範入學

ミルオーキ州立師範
學校に二女女性五名が
入學した氏名は蜂須賀
ベツキイ、マナ、浅和
ルース及びロイス、若本エ
ミ子以上開祖池田ハ
ナ(ミネト)也

須和人便り

須和支局へハ
ンストン須和所長の机
の前で頼る能率の事務
をとり評判の好かつた
遠藤ノリは九月十二日
須和に到着翌十三日よ
り速記筆記として同地
駐在支局に働き始め

たとひか全く当地の
足許に背かぬ。

ネブラスカ、オマハ

二子同伴同地に赴いた

伊藤秀雄夫妻は現在メ

ン街の一八半に居る

定め夫居はシム貴金属

商店に時計修繕師とし

て就働中、子供達も無事

學校に通つてゐる。

罪府に於ける

農産市場の現況

此の地方に帰還した人

達は野菜物出荷に際し

農産市場に何等の不安

はない。今日に於てそ

である如く將來も亦心

配のない事を予想さ加

る。農産市場には既に

に数人の商人が帰還者

の生産したものを取扱

つてゐる。三軒の農産商

は三名の二女をソール

ドマンとして就働させ

つゝある現況である。少

くとも七軒は現在既に

或は生産物までへあられ

何時でも賣り捌く用意

がある由之等の或る者

は未だ多量の品を取扱

ふ余地があるから日系

人の生産物と雖も來荷

さへおれば何の商人と

ても喜んで引受けて呉

れるだらうと感想を述

べた又二軒以上の農産

商は帰還者の作物と貨

車便に依る遠地販賣を

画策中との事も報道さ

れて居る。

二世を眼差して

特殊技術家招聘

某日ミルオーキ州新聞

尋求欄に切花店に働く

二世嬢を求むとの廣告

が出た直ちに応募した

比良転住所出身山本へ

レン(ミルオーキ州十一

北フレデリック街二五四

五は東メーソン街四〇

四の所からワスター花店

に現に愉快に働きつゝ

ある。

大山牧師寺の

お芽出度

須和より頼りに來たり

し後出所せる大山義松

牧師夫婦に女児出生言

セフィン、ひとみと命名

す同牧師は才四プレス

ビトリアン、教令日本人

部に勤務す。

二世嬢公立學校

教師として奉職

サンタマリヤ出身身塚

アミー嬢はユタ火警卒

業生であるか今週塩湖

市ラフエソ校の教師に

任命された。

養鶏園にて

助手を求む

経営費存に近く交通の

便よき北郡三一ツジ

一の養鶏園にて助手を

求む家具付三室半の住

居あり子供二三人あつ

ても良く學校は近し月

給百四十弗、年中無休

希望者は至急成田氏に

九區三A迄

衣履費は

九月から

現金拂ひ

八月分衣服費は月から

S迄の名前の人の分は

既に全ツキで送られる

捺に付て居るかSよ

り乙迄の人の分は十月

十五日頃現金で支拂は

れる捺になつて居る

現金で支拂はれる分の

正確な時口場所は決定

次才発表する

八月以後の衣服費は全

部現金で支拂ふが理由

は十月六日以後企業組

合では両替えとしなく

なる為めである。

拾得

本社前の道路で秋本氏

の名前あるエバシマ

アパンシルを一本拾

得、本社にて保管中

当りは本社迄

此の校舎計へ特志

及出所記念寄附

梯氏(氏名) 金五弗

福永(氏名) 金五弗

大平(氏名) 38區金五弗

遠藤(氏名) 金三弗

訂正 前週金旺の報

に十一月生新任教師と

して紹介せし共木氏息

は香月區氏息の間違

全ツキ。現金替

企業組合の全ツキ部で

は來る十五日(月)より廿

日(土)迄政府全ツキ及單

人扶助料全ツキを才の

倉庫で現金替への便を

圖る由。

靴修繕部閉鎖

先月一杯で同部は閉鎖

したが修繕せる靴未

を受取つてない分は才

の倉庫で受取らぬ度し。

横濱夫人

追尋會

函山縣人横溝守三氏夫

人は去る九月廿五日突

然死去されしにたが南

加花市場會員有志主催

下に來る十月八日午後

七時より才廿八區佛

会にて追悼会を催すに

付此の参詣を希むと

朗和市政参事會宛

転住留長よりの返書寫

マイヤー氏住宅問題解
決に成算あり

一、現在在任者は全機
能を挙げ、住宅問題解
決に盡して居るが今後
も亦此の方針を継続す
るものがある者、又は西
部沿岸飯蓮を志す全立
退者、住宅を少くとも
一時的に採り出し、して
け得る事を確信する。

高松在任は立退者が採
す一時的住宅及定住宅
に就いて出来るだけの
努力を為すものではあ
るが其実際の場所及定
住宅選取に當つては立
退者が責任を負はねば
ならぬ、何しろ母分者
を通じて之を為す事は
不可能である、殊に戦
乱の既に終結した今日
であるから大地に両脚

を著けて先で定住宅
を物色する立退者は全
部之を意見し得る事を
疑げない、

戦時住宅区域の空家に
立退者を入れる案に政
府公衆住宅当局者は既
に許可を與へた、此の承
諾は飯蓮者の一時的住
宅解決策に身共する如
きである。

甚大なりと云はざるを得ない、加之余剰の陸軍住宅五百軒が極最近に利用せられる事になつた、文は桑澆、フアンストン、安楽地方の事である、然し吾々としては飯蓮立退者の為空に調査を進め、他の方面より住宅を得る途を講ずる様うである。

立退者がホステルなり、或は他の假住宅に落付きさへすれば、仕事口はとれる、そして働き始め

て収入の途がつけば、当面の生活費は払つて行ける筈である、と云へ、若し或家族が特に生活の困難を感じる場合は、私任補助、又其他の救済援助が必要に依りて、興へられ。

所存にて永人

病院ハイラールームにて、猶一二名の病人を求めて居る者未得るなら、自働車をドライブ人が欲しいと

パロヴェーリにも生じた
同胞ホステル焼打未遂事件

九月廿四日正午過ぎ、ワッソンのホステルに、火をせんとして、火のついた物を投げつけた、果漢があつた、幸ひ、文は建物に落ち、すして、附近の歌を燃したりに止まつた。

同地警察署長マフトグ、レーブス、及、ジンマワ、カ、レー、D、Aは、嚴重な調査をなし、又、若し日系人、に對する暴行者に對して、法律に準じて、嚴刑を執行すると、表明した、かくの如き暴行より、生ずる被害に對して、申度、及、執務者が、全責任を、持つべきである、と、両者は、語つた。

此の事件、當時、同ホステルに、正宿中の、人々の、中には、休暇飯宿中の、三名、日系兵、及、多数の、女子、

クリープランド日系人 國際會館で音楽會開催

クリープランド在任日
系人最初の秋季教育大
會が去る九月廿三日、國
際會館で催されたが、二
、古き御家の多数が、演
じ、盛會だつた。

桑澆、女身の、周中、二、曲、ク
ラブ、會長、山縣、タツク、の
紹介で、皆、夜、り、司會者、海

女史が鳥海夫人の伴奏
で美声を聞かせた。

中絶時間には、王府、女
子、大學生、三戸、同、エ
ド、ウ、イン、が、古、典、音、樂、の
レ、コ、ード、を、同、か、せ、た。

當、夜、は、約、八、十、五、名、の、一
、二、名、白、黒、人、が、参、席、し、て
一、夜、を、樂、し、み、八、席、十、六
、仙、子、軍、人、へ、の、ク、リ、ス、マ
、ス、ア、ン、ゼ、ン、ト、に、寄、附、し
た。

日曜説教と
送迎會

七日午後三時より廿八
日、松、教、會、にて、河、内、團、教
役の、説、教、あり、故、城、山、氏
、故、島、崎、夫、人、の、送、迎、會、を
、行、つ、た。

松、教、會、は、九、時、早、より、廿、八
、日、松、教、會、にて、河、内、團、教

リンゼイ市の商店から
「バービツアス」のサイン
が、消、去、さ、れ、た、が、之、は、同
、市、民、が、二、女、の、戦、後、を、説
、き、痛、見、は、米、國、不、レ、入、ト
、行、為、と、説、明、し、た、事、に、依
、る。

「バービツアス」
サイン「取外さる」